

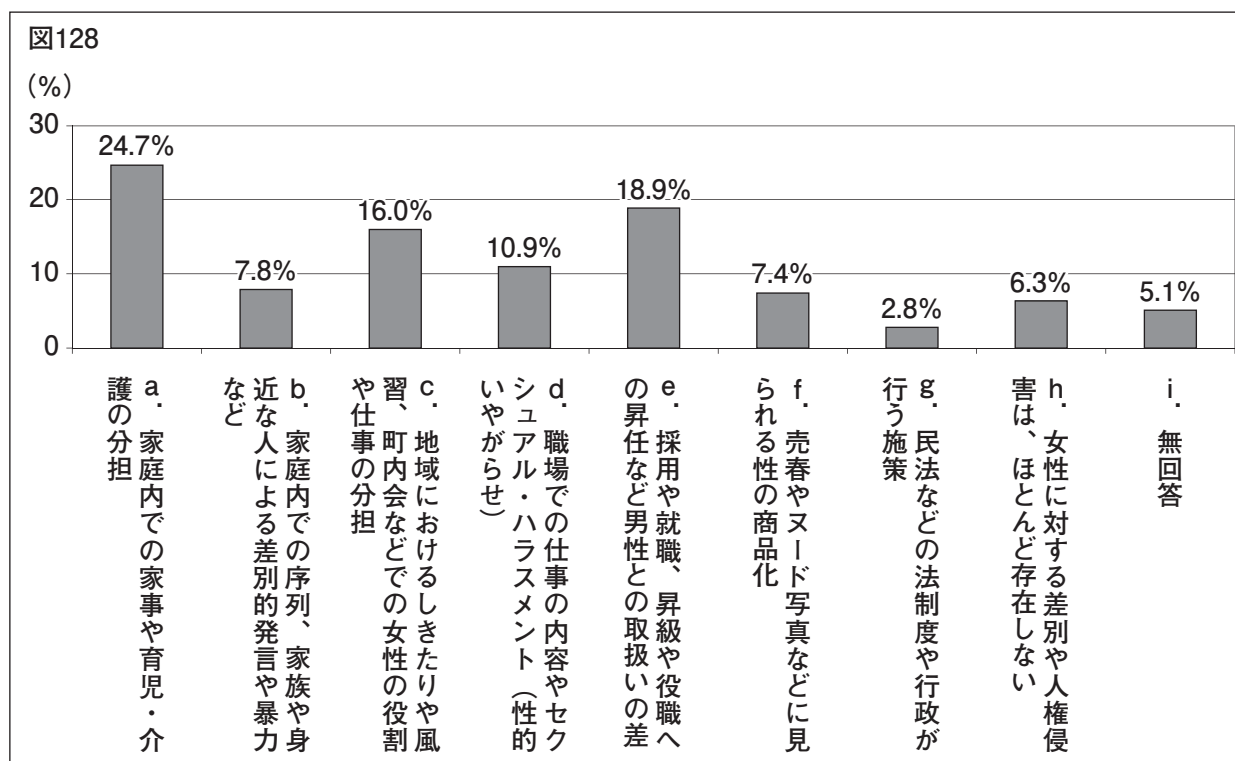
5 女性の人権について、あなたのお考えをお聞かせください。

質問22 どのような場面で、女性が差別や人権侵害を受けていると思いますか。次の中からあなたの考えにあてはまるものに○をつけてください。(○は3つ以内)

- 1 家庭内での家事や育児・介護の負担
- 2 家庭内での序列、家族や身近な人による差別的発言や暴力など
- 3 地域におけるしきたりや風習、町内会などでの女性の役割や仕事の分担
- 4 職場での仕事の内容やセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)
- 5 採用や就職、昇給や役職への昇任など男性との取扱いの差
- 6 売春やヌード写真などに見られる性の商品化
- 7 民法などの法制度や行政が行う施策
- 8 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない

〈分析〉

○ 女性が差別や人権侵害を受けていると思うことは、「a. 家庭内での家事や育児・介護の負担」(24.7%)が最も高く、次いで「e. 採用や就職、昇給や役職への昇任など男性との取扱いの差」(18.9%)、「c. 地域におけるしきたりや風習、町内会などでの女性の役割や仕事の分担」(16.0%)の順になっている。「h. 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」が6.3%であった。[図128]

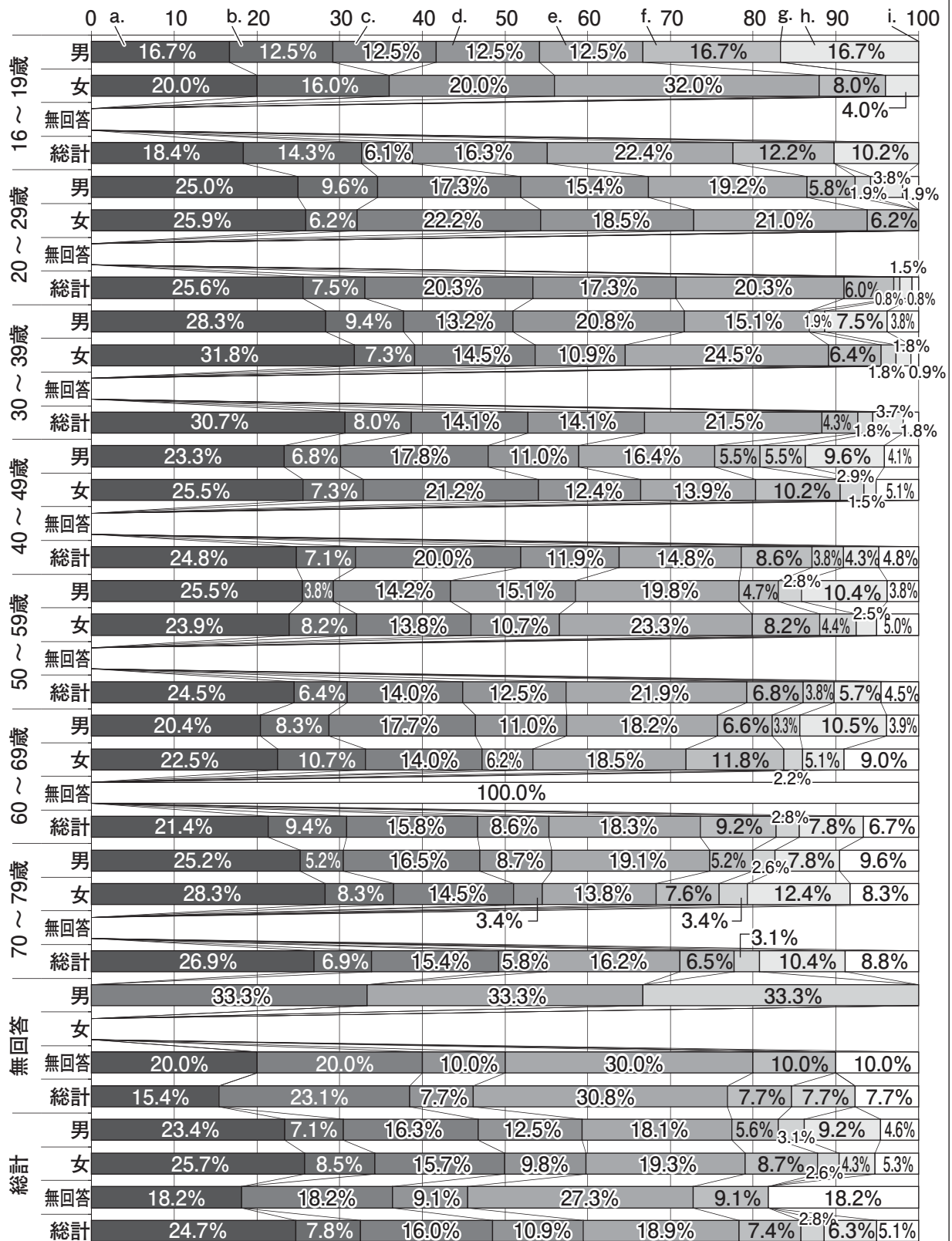


○ 性別[図129]では、ほとんど差異はないが、「a. 家庭内での家事や育児・介護の負担」では、男性が23.4%、女性が25.7%で女性の方が2.3ポイント高い。「h. 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」では、男性が9.2%、女性が4.3%で男性の方が4.9ポイント高い。

○ 年齢階層別[図129]では、どの年代も「a. 家庭内での家事や育児・介護の負担」と「e. 採用や就職、昇給や役職への昇任など男性との取扱いの差」が高い数値を示している。なかでも「a. 家庭内での家事や育児・介護の負担」では、30~39歳の30.7%が最も高く、次いで70~79歳の26.9%、20~29歳の25.6%が高い。「e. 採用や就職、昇給や役職への昇任など男性との取扱いの差」では、16~19歳の22.4%が高い。「h. 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」では、70~79歳の10.4%、16~19歳の10.2%が高い。

図129

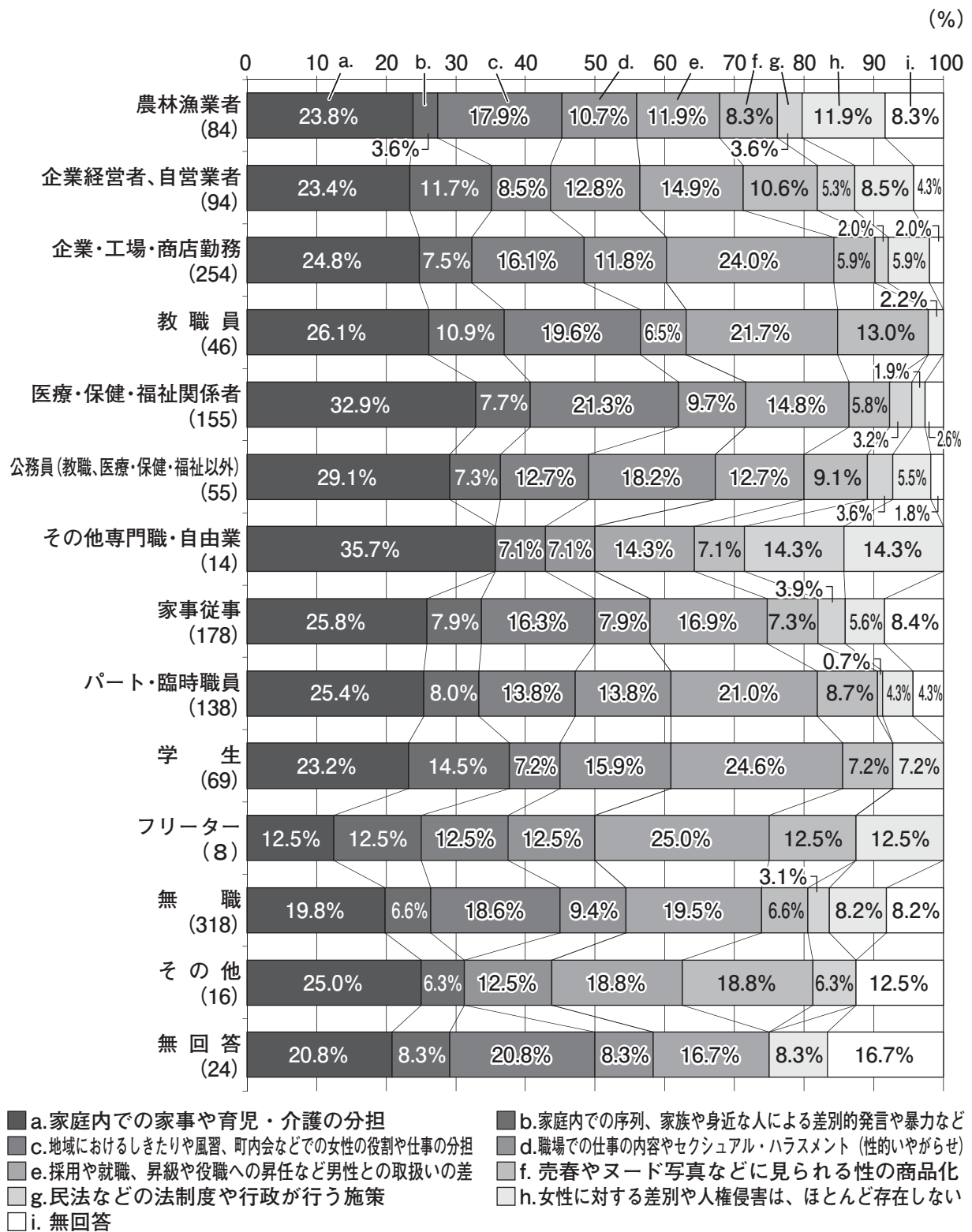
(%)



- a. 家庭内での家事や育児・介護の分担
- b. 家庭内での序列、家族や身近な人による差別的発言や暴力など
- c. 地域におけるしきたりや風習、町内会などでの女性の役割や仕事の分担
- d. 職場での仕事の内容やセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
- e. 採用や就職、昇級や役職への昇任など男性との取扱いの差
- f. 売春やヌード写真などに見られる性の商品化
- g. 民法などの法制度や行政が行う施策
- h. 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない
- i. 無回答

○ 職業別[図130]では、どの職種ともほぼ同一傾向にあり、「a. 家庭内での家事や育児・介護の負担」はその他専門職・自由業 (35.7%) が最も高く、次いで医療・保健・福祉関係者 (32.9%)、学校、医療・保健・福祉関係者以外の公務員 (29.1%) が高い。他項目では、「e. 採用や就職、昇給や役職への昇任など男性との取扱いの差」では、民間企業や工場、商店に勤める人 (24.0%) が高い。「h. 女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」では、その他専門職・自由業 (14.3%) が最も高い。「d. 職場での仕事の内容やセクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)」では、学校、医療・保健・福祉関係者以外の公務員 (18.2%) が高率を示している。

図130



6 外国にルーツを持つ人の人権について、あなたのお考えをお聞かせください。

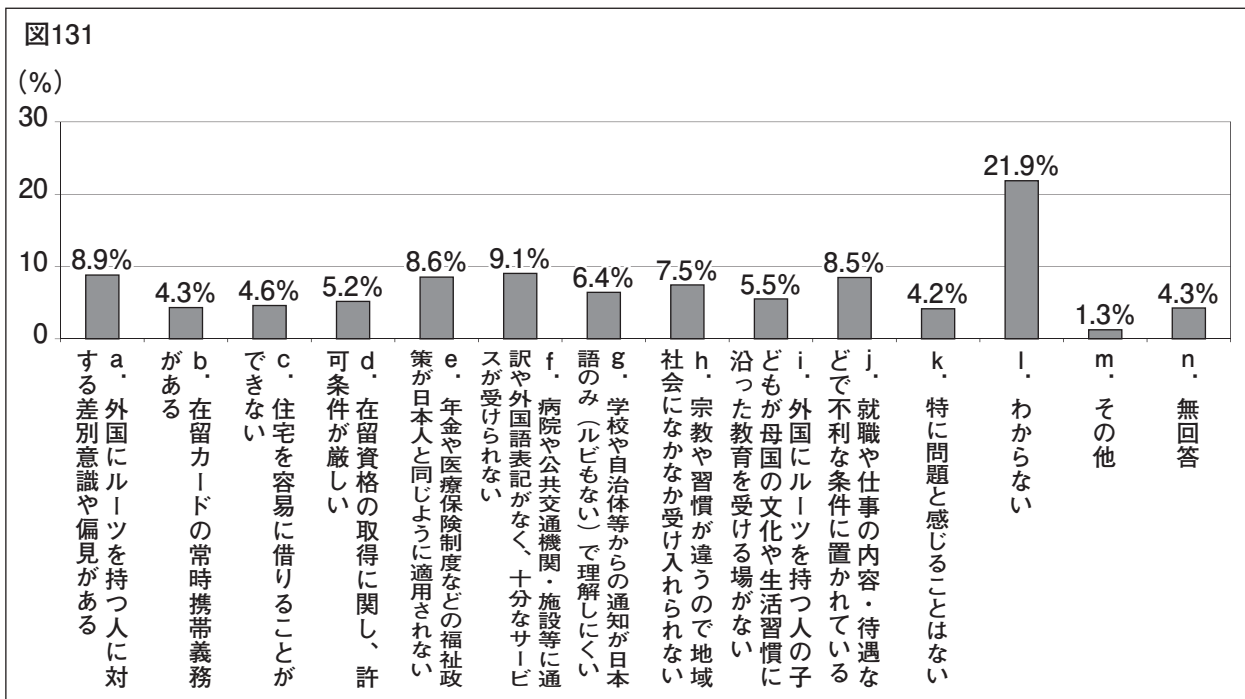
質問23-① あなたは、日本で暮らす外国にルーツを持つ人にとって、どのようなことが支障になっていると思いますか。次の中からあなたの考えに近いものに○をつけてください。(○はいくつでも)

\* 「外国にルーツを持つ人」・・・日本に在住する日本国籍を有しない人、又は、両親・祖父母等のいずれかが外国に祖先(ルーツ)を持つ日本国籍を有する人

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 外国にルーツを持つ人に対する差別意識や偏見がある                 |
| 2  | 在留カードの常時携帯義務がある                          |
| 3  | 住宅を容易に借りることができない                         |
| 4  | 在留資格の取得に関し、許可条件が厳しい                      |
| 5  | 年金や医療保険制度などの福祉政策が日本人と同じように適用されない         |
| 6  | 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない |
| 7  | 学校や自治体等からの通知が日本語のみ(ルビもない)で理解しにくい         |
| 8  | 宗教や習慣が違うので地域社会になかなか受け入れられない              |
| 9  | 外国にルーツを持つ人の子どもが母国の文化や生活習慣に沿った教育を受ける場がない  |
| 10 | 就職や仕事の内容・待遇などで不利な条件に置かれている               |
| 11 | 特に問題と感ずることはない                            |
| 12 | わからない                                    |
| 13 | その他( )                                   |

〈分析〉

○ 日本で暮らす外国にルーツを持つ人にとって支障になっていることは「f. 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない」(9.1%)が最も高く、次いで「a. 外国にルーツを持つ人に対する差別意識や偏見がある」(8.9%)、「e. 年金や医療保険制度などの福祉政策が日本人と同じように適用されない」(8.6%)の順に高くなっている。なお、「l. わからない」が21.9%あり、最も高い数値となっている。[図131]



○ 性別[図132]では、男女とも「l. わからない」が最も高く、男性が21.3%、女性が22.3%である。次いで「a. 外国にルーツを持つ人に対する差別意識や偏見がある」は男性が10.0%で最も高く、女性より2.0ポイント高い。女性は「f. 病院や公共交通機関・施設等に通訳や外国語表記がなく、十分なサービスが受けられない」が9.7%で、男性より1.4ポイント高い。